

1 科目「保健」

○ 実施内容

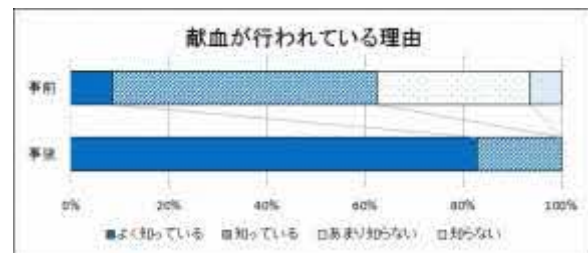
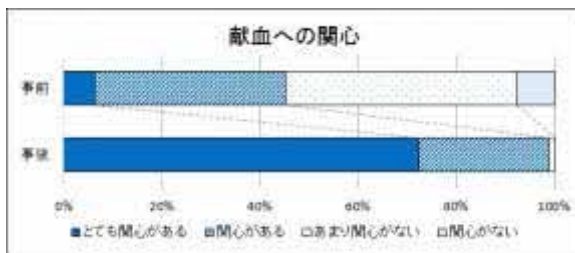
- ・ 献血事業や献血の必要性について説明
- ・ 血液センターから寄贈された映像（献血事業の説明、ありがとう献血）の視聴
- ・ グループ学習 等



○ 取組の工夫

- ・ グループ学習により、献血を行うには条件があることや、自分の意思で行うことが大切であることの理解を深めた。

○ 実践の成果



- ・ 自由記述においても、「血液を人工的に製造することができないことを知り、驚いた」「血小板の消費期限が4日しかないことを知り、本当に必要としている人のために多くの人の協力が必要なのがあった」などの記述が多く、献血について正しい知識を身に付けることができた。

2 特別活動等「学校祭で献血をPR」

○ 実施内容

- ・ 学校祭の一般公開日に献血に関するパネルの展示、献血の解説VTR上映、献血ポスターの掲示を行うことにより、来校者に対し、広く理解を呼びかけた。



【生徒の感想】

- 献血パネルを見て、献血をする人が減少していることや、病気で輸血を必要としている人がいること、人工的に血液は作れないことがわかった。
- 献血はもっと大変だと思っていたが、実際に採血する時間は10～15分と短いことや、全体でも40分くらいですむことがわかり、自分も献血してみようと思った。